



# まるびぎ

女 男  
石垣市のみーどろんとびぎどろんのひろば



(ブーゲンビリア) Photo by Y. Tonoshiro

**お互いの個性がひかる共同参画**

**参画社会 あなたもわたしも みな主役**

発行 / 石垣市総務部広報広聴課女性行政係

〒907-8501 石垣市美崎町14番地

TEL 0980-82-9911(代)

TEL 0980-82-1243(直)

No. 21

2005年春季号

題字：下野清美  
(大浜青年会)



## ～ 2004 石垣市の女性行政 ～

### 男女共同参画講座 〈パートI〉

#### 「いしがきプラン」について

講師：潮 平 俊

石垣市女性団体ネットワーク会議会長

とき：平成16年9月27日

北部地区を対象とした出前講座を明石公民館において開催した。

男女共同参画社会基本法のあらまし、世界と日本との男女共同参画問題について比較・解説された『21世紀はみんなが主役』のビデオ（内閣府男女共同参画局企画）を放映した。

続いて、石垣市女性団体ネットワーク会議会長の潮平俊氏による講演が行われた。

平成8年に策定された「いしがきプラン」についての説明や世界、日本、県の動き等を話された。これからは女性のエンパワーメント（力をつけること）が求められており、意思決定の場に女性の声を多く反映させていくことが今後の女性の課題であり、21世紀の「男女共同参画社会の実現」に向けて共に努力していきましょう！と述べておられた。

地域においては、農繁期にもかかわらず、共働きの多くの方々が参加され、活発な意見交換が行われた。



### 男女共同参画講座 〈パートII〉

#### 介護は誰の問題？

～ 女性の問題？ 男性の問題？ ～

講師：山城 紀子

フリーライター

（元沖縄タイムス編集委員兼論説委員）

とき：平成16年10月13日

ところ：市健康福祉センター



介護という言葉すら使われていなかった「時」から、さらにほんの少し前まで「介護」が問題として話し合われることもなかった。なぜなら、それは、言葉に出すまでもなく個人の問題であったし、女性なら（娘、妻、嫁）あたりまえのことだとされてきた。こういう社会のあり方が、多くの女性の可能性を奪うほどの凄まじいものだと考えられてこなかったし、人生を狂わせてしまったことを考えると介護される側にとっても実に不幸なことであったと言える。介護者自身が生き生きとしなくてはならないし、介護の現場で働く多くの女性たちの「苦情発信」で社会を変えることが出来ると強調されていた。



## 男女共同参画講座〈パートⅢ〉

沖縄県女性海外セミナー  
「女性の翼」研修報告

### オーストラリアの女性たちに学ぶ

第21期生 生 盛 智 子

石垣市商工会 女性部部長

と き：平成16年11月16日

と ころ：市健康福祉センター



私たちは、オーストラリアの女性たちに学ぶため、ウーマンズ・リーガル・リゾーシスセンター(女性のための法律支援センター)を訪ねた。センターは住宅街にあり、外見は普通の住宅で看板もなく、深刻な女性問題を取り扱う施設だとは、とても思えなかった。現在は、20人の弁護士と35人のスタッフが恵まれない女性のために働くセンターとして発展した。

女性たちの抱える問題は、差別、福祉、借金などだろうと思われていたが、実際にはドメスティック・バイオレンス(DV=配偶者や恋人からの暴力)と、家族に関する問題が圧倒的に多いということであった。事業内容は、電話による無料法律相談、法廷での弁護、先住民の女性たちへの支援、遠隔地へ出向いての相談などのサービス、コミュニティーへの法律教育、DVへの擁護サービスなどであり、これらのサービスを無料で提供している。また、女性と家族法などに関する本の出版、法律のスペシャリストとしての法律改正のための提言を行っている。

このセンターのほかに老人ホームや学校も訪問したが、行く先々で一人ひとりが個人として尊重され、自分の人生を自分らしく生きているのを肌で感じる事ができ、オーストラリアは何と寛大で自由な国だろうと感動した。反面、十分な教育が受けられない、子育て、就職、パートナーからの暴力など恵まれない人生を強いられている女性も多い。厳しい現実にも果敢に彼女たちとともに問題解決に取り組んでいる同志の女性たちにエールを送るとともに、さらになぜDVが起こるのか、どうすればDVを止められるか、被害者や加害者に対するアドバイスがカウンセラーの立場からあればと思った。

いつか、こういうセンターが必要でなくなる時が来ることを祈りたい。



### 【講演】

#### 生活習慣病予防の考え方

—最近特に多い高脂血症と  
男性の更年期・前立腺肥大  
女性の更年期・尿失禁等について—

講師：長 田 節 子

石垣市健康福祉センター 副主幹

### ～ 更年期の原因はホルモンのしわざ ～

男女とも更年期障害の原因は、ホルモンの量の減少で、40代後半あたりから減少しはじめ、さまざまな体調不良を引き起こす—これが、いわゆる更年期障害の正体であり、男女とも避けて通ることのできない身体的な変化である—パワーポイントを使って図示した健康講座、予防策の説明が行われた。



## 職員講座

### ..ビデオの放映と研修報告..

研修報告:石垣市保健福祉部  
福祉課長 上地加代子

と き:平成16年12月20日  
ところ:議員協議会室



「県および市町村の女性管理者合同研修会」に参加した福祉課長上地加代子さんによる研修報告がありその後、意見交換会を行った。

研修のまとめとして、「ネットワークを持つことの大切さ、仕事をする上で男性女性としての見方ではなく、個体としての見識がのぞまれ、女性の意識の改革が必要である」と話した。

男女共同参画を意識して政策決定の場や、業務遂行の中で女性登用が進められてはいるが、要は、男性、女性とも意識の変革が必要だと言うこと。また、行政（県、那覇市）が求めているのは、男性とか女性にかかわりなく、個人としての資質であり、市民のニーズに応えることの出来る職員であり、実施体制なのかなと考えさせられたと述べられ、その後、活発な意見交換が行われた。



## 石垣市男女共同参画会議 の開催

平成17年3月29日(火)  
市役所第1会議室

平成16年3月に実施した「市民アンケート」（石垣市男女共同参画社会づくりに関する市民の意識と実態調査）の結果がこのほどまとめ、男女共同参画会議へ結果報告を行った。内容は、6項目38設問からなっており、回収数1,274人、回収率63.4%となっている。

平成5年に行われた市民アンケートの回答結果との比較や、今回新たな設問を設けた。主なものに、「介護」、「女性登用」や「意志決定の場への女性の参画が少ない原因」等がある。



## 改正DV防止法講演会

講師：大川 芳子  
県男女共同参画室長  
譜久山 民子  
八重山福祉保健所長

と き：平成17年2月5日  
と ころ：大濱信泉記念館  
主 催：ハートサポート・やいま  
共 催：八重山福祉保健所・石垣市



大川芳子氏



譜久山民子氏

「DV防止法における市町村と県の役割」と題して大川芳子氏による講演が行われた。大川氏は、DV防止法による法的な措置はその場限りのものであり、根本的には、社会全体がDVは犯罪であるという認識を持つことが重要であると強調した。続いて、「八重山の現状」を演題に譜久山民子氏による講演が行われた。譜久山氏は、八重山管内の毎年増加している相談件数を取り上げ深刻な現状を数値をもとに報告した。

### … DV防止法が改正されました…



女性に対する暴力根絶のための  
シンボルマーク

「配偶者からの暴力」は、犯罪であるにもかかわらず、家庭内で行われるため潜在化しやすく、これまで被害者の救済が十分におこなわれていなかった。

「配偶者からの暴力」を防止し、被害者を保護する体制を整備するために制定されたのが「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」いわゆる「配偶者暴力防止法」(DV防止法)です。平成13年4月に制定され、

平成16年6月にDV防止法が一部改正され、12月2日から施行された。

#### 主な改正点

保護命令の対象を元配偶者に拡大  
被害者の子への接近禁止命令制度の創設  
退去命令の期間を2ヶ月に延長すること。

#### 「暴力」とは、

この法律において、「配偶者からの暴力」の「暴力」とは、法改正前は「身体に対する暴力」となっていたが、改正後は「身体に対する暴力又はこれに準ずる心身に有害な影響を及ぼす言動」をいう。なお、保護命令に関する規定及び警察本部長等の援助に関する規定等については、身体に対する暴力のみである。

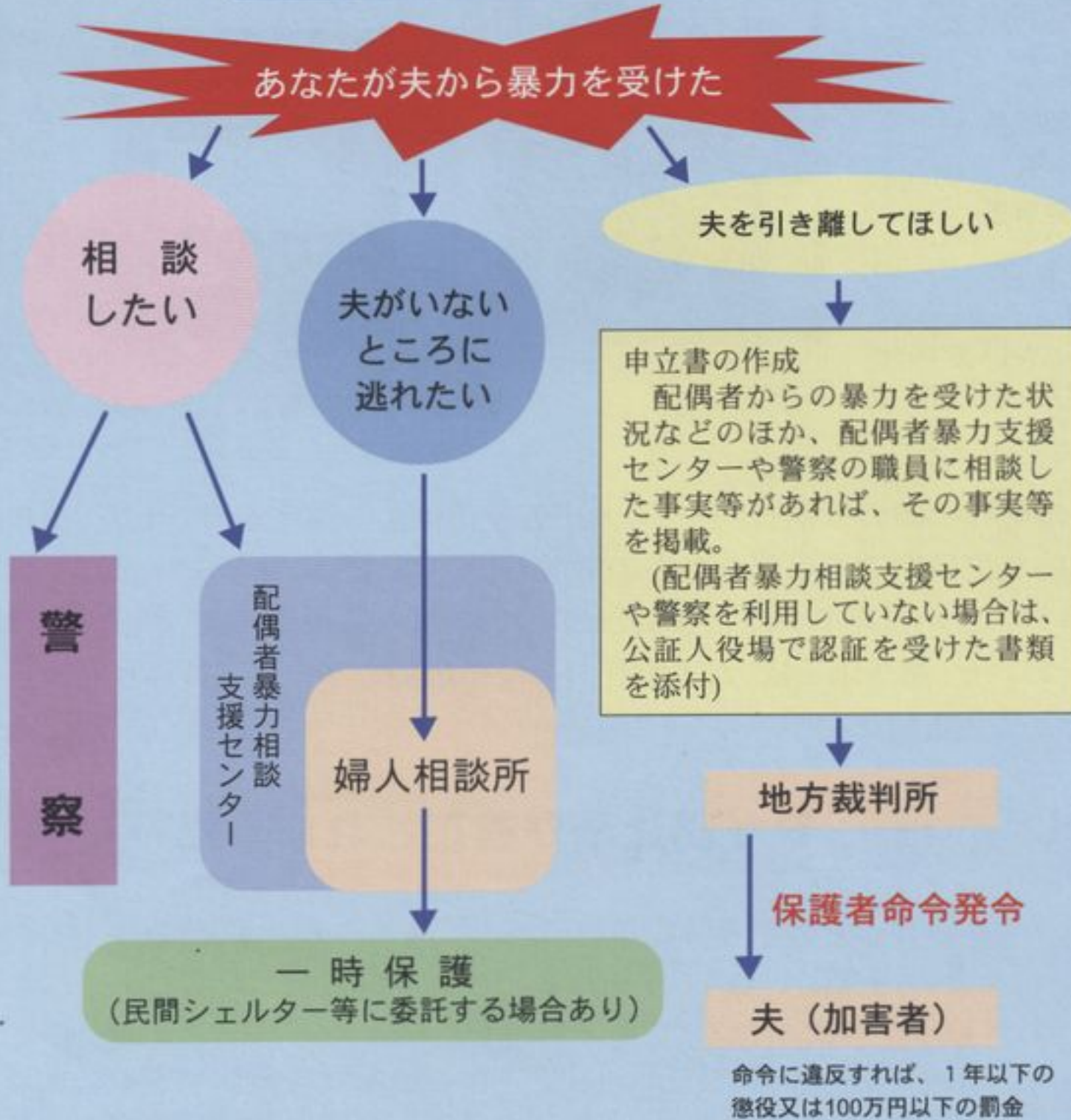
#### 「配偶者」とは、

この法律において、「配偶者」とは婚姻の届出をしている者のほか、事実婚（婚姻の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情がある者）も含まれ、法改正後は、離婚後引き続き元配偶者から暴力を受けている時は、元配偶者も含まれる。

一人で悩まずに相談してみませんか



## DV防止法の流れ



## 詳しくは

市児童家庭課  
女性相談室までお問い合わせ下さい。

TEL: 82-9911 (代表)  
内線 (265)  
TEL: 82-1704 (代表)  
(児童家庭課)  
内線 (265)

1人で悩まずに  
相談してみませんか

沖縄県女性相談所

配偶者暴力相談支援センター

TEL: 098-854-1172

(月～金) 午前8時半～午後5時

(土・日・祝) 午前8時半～午後5時

※ 年末は休み

八重山

八重山福祉保健所福祉課 (婦人相談員)

TEL: 82-2330

午前8時半～午後5時

石垣市

石垣市福祉事務所 女性相談室

TEL: 82-9911 (代表) (内線265) ・ 82-1704 (児童家庭課) (内線265)

(月～金) 午前9時～午後5時

警察

警察安全相談

緊急時は 110番

沖縄県警察本部

TEL: (098)863-9110

年中無休 24時間受付

ているる相談室 (沖縄県女性相談センター)

TEL: (098)868-4010

(火～土) 午前10時～午後5時

※日・月と年末年始は休み



生りどう宝(子宝こそ第一)

ふぁーまー(子・孫)元気

# 石垣市子育て支援 行動計画

結い(地域)で子育て

子どもは「未来の夢」「次代の希望」であり、社会にとってかけがえのない財産です。本市においても少子化に歯止めがかからない状況が続いている。

このことから、石垣市においてもこれまで進めてきた母子保健計画の施策を中心に国の「次世代育成支援行動計画策定指針」等を踏まえ、「石垣市子育て支援行動計画」を策定した。

## ○子育て支援に関する各種相談

	相談内容	通所・来所時間	問い合わせ先
子育て関係	・育児相談等	月曜日～金曜日 午前9:30～午後4:00 (火・木は午前のみ)	地域子育て支援センター 大川保育所内【こっこーま】 TEL 88-5219
		月曜日～金曜日 午前9:30～午後4:00	地域子育て支援センター オリブ保育所内【ゆい】 TEL 82-5096
	・子どもの養育についての相談 ・児童虐待についての相談	月曜日～金曜日 午前9:00～午後4:00	児童家庭課(家庭児童相談室) TEL 82-1704
	・子どもの健康についての相談	月曜日～金曜日 午前9:00～午後4:00	健康福祉センター TEL 88-0088
教育機関	・教育相談全般	月曜日～金曜日 午前9:00～午後4:00	教育研究所 TEL 84-1564
青少年関係	・青少年についての悩み相談 ・不登校(怠学)についての相談 ・非行等についての相談	月曜日～金曜日 午前9:00～午後4:00	青少年センター TEL 82-1030
	・電話相談	月曜日～金曜日 午前9:00～午後4:00	TEL 82-1030
男女平等関係	・家庭内暴力についての相談 ・セクシュアルハラスメントについての相談 ・DVについての相談	月曜日～金曜日 午前9:00～午後4:00	児童家庭課(女性相談室) TEL 82-1704 (内線 265)
自立支援関係	・ひとり親家庭生活支援相談 ・母子家庭等福祉資金貸付相談	月曜日～金曜日 午前9:00～午後4:00	児童家庭課 TEL 82-1704

お問い合わせ先：石垣市役所 保健福祉課 児童家庭課 TEL 82-1704



# 第8回 まるごと フェスティバル

とき：平成17年1月29日（土）  
～ 1月30日（日）

とこ：石垣市健康福祉センター

テーマ  
かがやき 響き合う やいばの女・男



ヴィオロンクラブによる演奏

## 各団体による活動紹介



### ワークショップ



展示・実演・手作り・語り合いなど



### 子どもコーナー



国際交流員たちによる  
世界料理教室





## 体験コーナー



ジャザサイズ



フォークダンス

### 【講演会】

#### 平和を求める —沖繩の現状と地位協定—

講師：新垣 勉 弁護士

日米地位協定改定の実現を求める  
NGO事務局長

沖国大のヘリ落下事故もあり、地位協定について難しい演題にも関わらず、場内は真剣なまなざしで講師のはなしを聴いていた。



## ミズニュース

### 受賞 おめでとうございます

石垣市民踊愛好会会長 前新科子

沖縄県社会教育功労者表彰を受けられた。石垣市民踊愛好会は現在、市内で1,400名余の会員登録があり、今年で23周年を迎えた。発表の機会を通して、各婦人会活動や地域に広め、普及していく楽しさと嬉しさがあるからこのように長年続けることができた。数多い活動の中で、特に印象に残っているのは、

「石垣市総合体育館の落成式」である。「会員400名による『鷺の鳥節』を赤、青、黄色の衣装で動きを工夫し、一堂に演舞できた時は、感無量であった」と感慨深げに当時を思い出して述べておられた。年齢を感じさせない、しなやかで、そして、優しく包み込んでくださるお人柄がこれまで多くの会員を育ててこられたことだろう。

前新さんは、「これも会員や皆様の協力のおかげで感謝の気持ちを忘れず、これからも会員、関係団体と連携し、社会に貢献していきたい」と、つつましいお言葉で述べておられた。





# チャレンジする女性たち

第十一管区海上保安本部 石垣航空基地に  
初の女性パイロット 及び  
女性整備士 配属

飛行員 堀田 美保子さん  
整備士 大門 優子さん



堀田さん

堀田さんは愛媛県出身で、高校の時、ヘリコプターに乗る機会があり、「あっ！これだ」と思ったのが自分の進路のひらめきだと言う。幸いに海上保安学校航空課程の募集をみて、この道に入るきっかけとなった。昨年9月から石垣航空基地に配属され、現在は、副操縦士の研修を終え、海上保安業務をはじめ、救急患者の輸送業務に従事している。

最近では、3月末の西表島シーカヤック遭難事故の捜索に関わった。「女性パイロットが少ない中で、不安もあったが、まだまだ覚える事がいっぱいなのでフライトの中で業務に励んで行きたい。また、将来は機長として八重山の空を飛び業務に携わりたい」と素敵な笑顔で抱負を述べておられた。因みに全国航空基地では3名の女性パイロットが活躍している。



大門さん

大門さんは富山県出身で今年の4月から石垣航空基地に配属された。この道に進もうと思われたきっかけはと訪ねましたら、淡々とした口調で「かっこいいから」と即答され圧倒された。「男性が多い中での仕事に特に女性だからという不安はこれまで感じなかったし、これからは色々な資格を取得し認めてもらい、新たな整備士ライセンス取得に挑戦、やりがいのある、責任のある仕事をする事が目標だ」と述べておられた。航空機はパイロットだけではなく、整備士等の多くの人の協力により安全な運行が確保される、まさに車の両輪を担っている彼女たちにエールを送りたい。また、同僚や上司

らと会して、彼女らへの激励やなごやかな雰囲気職場のチャレンジ支援に対する寛大さを感じた。取材を通して、彼女らの屈託のない、さわやかな会話や親しみに触れ、大空を舞っているかのような錯覚を感じるひとときであった。

## 県外ニュース

### 「日本女性会議2005ふくい」開催

平成17年10月7日（金）～8日（土）

お問い合わせ先：日本女性会議2005ふくい実行委員会事務局

TEL 0776-20-5353

## 表紙解説

「まるごー」とは、八重山の方言で円座を意味する。老若男女の別なく、円座になって情報を交換したり、未来を語り合うことを象徴して命名された。

表紙の写真は、ソフトフォーカスレンズを使用し一見幻想的な雰囲気をかもしだした南国特有の鮮やかな「ブウゲンビリア」の花です。

写真提供は：登野城安則氏（市内登野城在住）です。